

日本風景街道「伊勢熊野みち」

中部

地域のねらい

- 江戸時代に培われた旅人へのもてなしのみち・熊野古道「伊勢路」の復活・再生をシンボルに、紀伊半島の自然・歴史文化・生活文化資源を活用した地域づくりをめざします。

活動エリアと地域資源

- 巡礼道「世界遺産熊野古道「伊勢路」」を軸とした三重県南部地域一帯。また、一般国道(国道42号、260号、311号等)、高規格道路(近畿自動車道紀勢線、熊野尾鷲道路)などのほか、来訪者が利用するまちなかの道についても対象。

【見どころ】

黒潮流れる熊野灘や獅子岩に代表される自然景観

世界遺産熊野古道「伊勢路」、花の窟、川の参詣道「熊野川」等の歴史文化景観

丸山千枚田等の生活文化景観

【主な活動】

沿道での花植えや清掃

古道の保全

マップや案内板の整備

地域の魅力を体験できるイベントの開催

語り部の育成

地域の活動推進体制

日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会

- 地元住民団体、トラック協会等14団体
- 道路管理者(紀勢国道事務所、三重県、関係市町)



熊野古道馬越峠の石畳



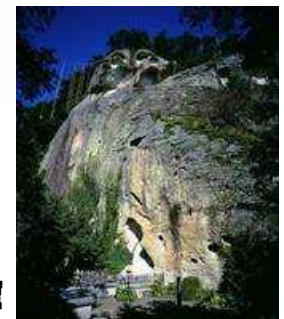
松本峠付近からの
七里御浜の眺望



獅子岩と朝陽



丸山千枚田



花の窟